

平成5年2月10日	三重郡楠町の消防事務受託に際し、南消防署を一部増築（事務所部分135.18㎡）
平成5年2月26日	三重郡朝日町、川越町の消防事務受託に際し、北消防署朝日川越分署を建設（鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積560㎡）竣工式を挙げる
平成5年3月1日	三重郡楠町、朝日町、川越町の消防事務を受託し業務開始 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車、軽トラック各1台を配備、予防係、消防第1係、消防第2係、消防第3係を設置し、分署長以下18名で業務を開始した
平成5年4月1日	機構改革により、消防本部に通信指令室を設け消防課の所管とし消防署に副参事を設けた 中消防署に特別救急隊を設置し、高規格救急車の運用を開始した 消防音楽隊を再結成し、練習・訓練を開始した 消防職員定員 284名
平成6年4月1日	機構改革により、中消防署港分署の水上第3係を廃止した 消防職員定員 286名
平成7年3月3日	四日市市消防本部・四日市市消防団連名で、消防庁長官表彰・表彰旗を受章
平成7年4月1日	消防職員定員 290名
平成8年3月31日	島村隆氏消防長を退任
平成8年4月1日	10代目消防長に小山佳志氏就任
平成8年4月1日	消防職員定員 294名
平成8年7月12日	消防緊急通信指令システム運用開始
平成9年4月1日	機構改革により、消防本部に防災教育センター、中消防署に特別救急救助第1、第2、第3係を設けた
平成9年4月10日	北消防署、防災教育センター竣工
平成10年2月1日	予防システムのOA機器更新
平成10年4月1日	機構改革により、消防本部総務課の所管として情報指令室を置き、同課施設装備係を装備係に、消防課を消防救急課に、同課の防災係及び救急救助係を統合し地域安全係とし、予防課を予防保安課に、同課の建築物係を予防係に、危険物係を保安係に、指導査察係を安全指導係に、各消防署及び朝日川越分署の予防係を指導係に、中消防署の消防第1～3係及び特別救急救助第1～3係を消防救助第1～3係及び救急係に改称し、北消防署及び南消防署に救急係を設置した。消防職員定数 293名
平成10年10月15日	北勢地域携帯電話119番通報運用開始
平成11年3月31日	小山佳志氏消防長を退任
平成11年4月1日	消防職員定員 292名
平成11年4月3日	11代目消防長に星合隆毅氏就任
平成11年10月1日	北消防署保々分遣所を廃止し、新たに北消防署北西救急分駐所（職員3名、救急車1台）を開設
平成14年2月27日	中消防署に救助工作車（Ⅲ型）を増強配備した
平成14年3月31日	小山田分遣所を廃止
平成14年4月1日	機構改革により北消防署消防係を消防救助係に改め、救助工作車の運用を開始した

歴 代 消 防 長

代	氏 名	在 職 期 間
初	吉 田 千 九 郎	昭和 24 年 3 月 29 日 ～ 昭和 29 年 11 月 15 日
2	中 村 松 次 郎	昭和 29 年 11 月 16 日 ～ 昭和 36 年 3 月 31 日
3	竹 内 鉄 雄	昭和 36 年 4 月 15 日 ～ 昭和 43 年 3 月 31 日
4	富 山 光 三	昭和 43 年 4 月 1 日 ～ 昭和 47 年 3 月 31 日
5	倉 谷 徳 助	昭和 47 年 4 月 1 日 ～ 昭和 50 年 3 月 31 日
6	松 村 佳 美	昭和 50 年 4 月 4 日 ～ 昭和 53 年 3 月 31 日
7	渡 邊 靖 三	昭和 53 年 4 月 5 日 ～ 昭和 58 年 9 月 30 日
8	山 口 博	昭和 58 年 10 月 1 日 ～ 平成 2 年 3 月 31 日
9	島 村 隆	平成 2 年 4 月 2 日 ～ 平成 8 年 3 月 31 日
10	小 山 佳 志	平成 8 年 4 月 1 日 ～ 平成 11 年 3 月 31 日
11	星 合 隆 毅	平成 11 年 4 月 3 日 ～ 現在